

前奏曲——永遠への兆し

前奏曲、プレリュード。

プレリュードとは何のための前奏なのだろう。

幻想的空間と、生きて体感する空気感との狭間を
往来するドビュッシー。

シベリアの自然とロシアの文化の中に生きる人たちの
声が聴こえてくるラフマニノフ。

共通しているのは、生きた人間の感覚、
その彩りをプリズムのように見せてくれる、
聴かせてくれるということ。

全てがそこに網羅されている。

そんな前奏曲の次に来るものとは、何か。

前奏曲が「生きている感覚」なのだとしたら、
その次に来るものとは……。

プログラム最後に鳴り響く鐘、の音のなかに
私は、あなたは、何を聴くのだろう。

仲道郁代